

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

大陽日酸株式会社（証券コード:4091）

【クレジット・モニター指定】

長期発行体格付 A + → # A + / ネガティブ
債券格付 A + → # A + / ネガティブ

■格付事由

- 本日、当社は米国 Praxair, Inc.（Praxair 社）の欧州事業の一部について、同社と株式売買契約を締結したことを発表した。取得対象は、Praxair 社の欧州事業のうち、ドイツ・スペイン・ポルトガル・イタリア・ノルウェー・デンマーク・スウェーデン・オランダ・ベルギーの産業ガス事業、英国・アイルランド・オランダ・フランスにおける炭酸ガス事業、及びヘリウムに関連する事業である。取得価額は合計 5,000 百万ユーロ（約 6,438 億円）で、株式譲渡実行日は 18 年 11 月（予定）としている。なお、本件の実行は Praxair 社とドイツ産業ガス大手の Linde Aktiengesellschaft が各国の競争法当局から合併の承認を得られること、並びに当社による買収実行が欧州委員会及び関係する競争法当局から承認を得られることが条件となっている。
- 当社はこれまでも M&A を通じて事業基盤の強化を図り、業容拡大と利益成長につなげてきた。現在の当社の海外ビジネスは、米国、アジア・オセアニアが中心となっている。本件買収の対象となる事業の規模は、現在の当社の米国事業に匹敵し、収益性も良好である。本件買収が成立した場合、これまで未参入であった欧州地域の事業基盤を一気に獲得することで、当社の世界の産業ガス業界におけるプレゼンスも向上すると考えられる。当社では現在、産業ガス業界の世界的な再編などを踏まえ、持続的な成長に向けた事業戦略を進めており、本件買収はこれに沿ったものといえる。
- ただ、本件の取得価額は大きく、これまでの事業計画で予定していた投資計画も大幅に上回ることになる。買収後、当社の有利子負債は現状水準に対し、3 倍程度に増加するとみられる。資金調達の一部はハイブリッドファイナンスの利用が予定されており、一定程度、財務負担が軽減されると考えられるが、買収後に当社の財務構成が健全な水準に回復するまでには時間を要する可能性がある。これらを踏まえ、当社の格付を「ネガティブ」方向でクレジット・モニターに指定した。今後、買収手続きの帰趨や買収後のシナジー効果の想定、買収資金の具体的な調達状況などを確認した上でクレジット・モニターを解除する予定である。なお、CP 格付はクレジット・モニターの対象としていない。

（担当）藤田 剛志・坂井 英和

■格付対象

発行体：大陽日酸株式会社

【クレジット・モニター指定】

対象	格付
長期発行体格付	#A+/ネガティブ

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 11 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2014 年 2 月 27 日	2019 年 2 月 27 日	0.319%	#A+/ネガティブ
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2014 年 2 月 27 日	2021 年 2 月 26 日	0.558%	#A+/ネガティブ
第 13 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2016 年 12 月 15 日	2021 年 12 月 15 日	0.140%	#A+/ネガティブ
第 14 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2016 年 12 月 15 日	2026 年 12 月 15 日	0.390%	#A+/ネガティブ

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年7月5日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：千種 裕之
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)、「親子関係にある子会社の格付け」(2007年12月14日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 太陽日酸株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル